



町長と語ろう！

***東中倍本地区の皆さん
*かみふ子育てネット「くるくる」**

町内のグループや団体、町内会などが町長とさまざまなことを語り合う「町長と語ろう」。

12月26日に東中倍本地区の住民9人、1月27日にはかみふ子育てネット「くるくる」の会員9人が、上富良野町で生活するうえで抱えている身の回りの問題について、町長と熱心に語り合いました。

問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

12/26

東中倍本地区と語る！

◆東中倍本地区住民（以下、倍本地区）

東中倍本地区では東中倍本地区演習場問題協議会を発足し、陸上自衛隊の演習場が近いために起こる問題について協議しています。

防衛省による演習の砲撃音に対する防音工事をしてもらいました。

◆倍本地区 自宅の防音工事で砲撃音がとても静かになりました。対象外の地域でも騒音に困っている方には、防音工事をしてほしいです。

◆基地調整室長 平成24年6月に防衛省が、東中地区で防音が必要と思われる区域を防音区域に指定し、区域内の15戸のうち6戸が工事の対象となりました。平成26年には騒音の測定器が倍本地区の浄水場に設置され、地域の方にも数値が通知されるようになっていきます。防音工事の指定区域の拡大については、この数値を基に、町と北海道の基地対策協議会から防衛省や財務省に要望しているところです。

●町長 防音関係は、いち早く国へ要望する必要があると思っています。より詳しい数値により、工事区域の拡張を要請します。

◆倍本地区 ポロピナイ川の脇道を通って畑に行きたいが、立木で通ることができないので切ってほしいです。

◆建設水道課長 ポロピナイ川の木は町の管理なので、来年度から計画的に対処していきたいと思っています。

演習場周辺地区自治活動奨励事業補助金には公共施設管理維持事業という項目があり、地域で伐採していただければ、補助金を支払うことができます。協力をお願いできますか？

◆倍本地区 川の中は無理でも、川縁なら地域で切ることが出来ます。

●町長 できないところは町で対応しますが、地域の皆さんにも協力していただければと思います。

河川を利用した水力発電

◆倍本地区 農家の方も、収支の中で電気代が占める部分が大きいと聞きます。倍本地区の川を使って、水力発電はできないでしょうか？

●町長 地域資源の活用はますます求められると思います。農業用水として使われている河川は水利権の問題もあり、水力発電への利用は難しいかと思いますが、町内には農業用水に利用していない河川が2河ありますので、水力発電が可能か北海道立総合研究機構と北海道科学大学に可能性などについて検討をお願いしているところです。

町でも、白銀荘や上富良野小学校ではヒートポンプで省エネルギー化に取り組んでいますので、可能なものは検討します。

文化財を守るために…

◆倍本地区 倍本地区から引越した方から木彫りの熊を預かりました。

この木彫りは、松浦武四郎が東中地区を歩いたときにガイドをした「クウチン」の孫が昭和初期に作ったものです。このように珍しい物が時間とともに失われる心配があるので、町でも調査・鑑定することで、保存されていくと思います。

東中地区の記念誌には記録が残っていますが、ほかの地区については分からないので、広報誌などで町民の皆さんに尋ねるのもいいかと思っています。

●町長 個人が所有する文化財を郷土館で所蔵することは可能です。

町内では「郷土をさぐる会」が熱心に取り組んでいますし、教育委員会で対応できないか検討させていただきます。

